

# 波郷 記念館 だより

第50号



発行日 令和2年12月25日

江東区砂町文化センター  
〒136-0073  
東京都江東区北砂  
5-1-7  
電話 03(3640)1751

## 第六回「こども江東歳時記」

### 受賞作品決定しました！

俳句と写真のコラボレーション作品を募集した「こども江東歳時記」は、今年で六回目になります。

本大会は、石田波郷が、城東区北砂町（現東京都江東区）在住時代、読売新聞江東版に連載した「江東歳時記」（俳句と写真によるエッセイ集）にちなんで開催しています。

今年度は二三二句の応募がありました。俳句部門は大谷弘至先生と日下野由季先生、写真部門は大西みつぐ先生による選考で、「江東歳時記賞」他、受賞作品が決定しました。十一月二十二日（日）、入選した児童を招いて授賞式を行いました。



石田波郷記念館「江東歳時記」賞

風鈴がお届け物を知らせてる

小学六年 田中 快翔



【日下野由季先生講評】

このお届け物とは風のことなのでしょう。風が吹くたびに、大きく、小さく鳴る風鈴の音。涼しいお届け物ですね。発想が豊かです。

【大西みつぐ先生講評】

句も写真もなんだかテレビコマーシャルを見ているよう。人と風の動きがイメージとしてよく表現されています。画面の構成配分もよく、背景の青色と風鈴のワンポイントの赤色がよく対応し清涼感が増します。

## 読売新聞社賞

かぼちやたちじいじのけらいについてこい

小学一年 八木 穂乃佳



### 【大谷弘至先生講評】

おじいちゃんが収穫したかぼちやでしょうか。たくさんのかぼちやたちがおじいちゃんの家来のようにみえる。きつとおじいちゃんのこと誇らしいのでしよう。いまにも歩き出しそうなかぼちやたち。楽しいな空気がつたわってきます。

石田波郷は、昭和二十四年ころから  
カメラに凝りはじめ、  
結局、生涯の趣味になったんだよ。



はこべらすずめ

## 風景賞

ひまわりを目印にして会いに来て

小学四年 石森 麻鈴



### 【大西みつぐ先生講評】

写真を撮りたいと思わせるのは、何か心が動いた時。愛犬が亡くなり悲しく寂しい時。遺影に写るワンちゃん可愛いつぶらな瞳とひまわりの花が重なり、思い出がたくさん押し寄せてきたことでしょう。会いに来て欲しいという気持が、真正面からしっかりとらえた祭壇から切々と伝わります。とても率直な写真です。

## 俳誌「鶴」と石田波郷

俳誌。昭和十二年（一九三七）に石田波郷が創刊。波郷が選者をつとめていた「馬酔木（あしび）」新人会の俳誌「馬」と新興俳句同人誌「樹氷林（じゅひょうりん）」の二誌を合流して誕生しました。

「鶴」の誌名は、波郷によれば、銭湯で体重計に乗ったときの「瘦躯（そうく）鶴の如し」から思いつき、翌朝も「鶴」という言葉が出てきたため命名したと言います。波郷は、「鶴に似ず」（「馬酔木」昭和十二年九月掲載）で「僕は新雑誌を鶴と命名することに少しも躊躇しなかつた。」「僕が鶴などに似ても似つかぬことは右写真を一見すれば自ら明白だが、僕がものに命名することは、殆ど天の命ずる如く果断迅速である。」と述べています。

石塚友二（ともじ）、志摩芳次郎（よしじろう）、杉山岳陽（がくよう）、田中午次郎（うまじろう）ら十六人の同人で出発。波郷没後は、石塚友二、星野麥丘人（ばくきゆうじん）が継承。現在は、鈴木しげを主宰。

終戦前後の二年間、戦後波郷が入院した後の四年間、休刊もありましたが、令和二年（二〇二〇）六月に九〇〇号を刊行しました。

## 館蔵資料公開

現在、石田波郷記念館では、俳誌「鶴」と関連資料を展示しています。一部をご紹介します。

### 「鶴」第七卷第十二号

昭和十八年十二月号、

鶴發行所

ガリ版

戦時中に出版されたものです。



### 「鶴」第九卷第五号 石田波郷「鶴俳句雑感」

昭和二十一年八・九月号、鶴俳句會發行

ガリ版

波郷は、鶴俳句が、古典に学び俳句の散文化を嫌うこと、実作力を大切にすることを述べています。



「鶴」第九卷第二号

昭和二十一年五月号、鶴俳句會發行

ガリ版

波郷は、昭和二十一年三月に城東区北砂町（現江東区北砂）に転居し、昭和十九年から休刊していた「鶴」を復刊しています。



「鶴」第十二卷第二号

昭和二十八年五月号、鶴発行所



砂町文化センター  
ニュース VOL.50

1月10日(日)  
10時から  
予約開始

砂町文化亭 柳家小三治・柳家小里ん二人会

砂町文化センターの大人気落語会を、今回はティアラこうとうでソーシャルディスタンスを確保して行います。

- 日時 2021年3月19日(金) 19時開演
- 会場 ティアラこうとう 大ホール
- 全席指定 4,000円/ティアラ友の会3,600円  
シニア(60歳以上)3,800円 ※6歳より入場可
- チケットのご予約・お問い合わせ  
江東区砂町文化センター 03(3640)1751  
ティアラこうとう 03(5624)3333